

## 研究課題名「BRAF V600E 変異を有する進行・再発大腸癌に対する積極的外科治療の意義に関する検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2016年12月1日～2020年4月30日に当院で治療を開始された BRAF V600E 変異を有する進行・再発大腸癌の方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

BRAF V600E 変異進行再発大腸癌の予後は極めて不良であります。遭遇機会は少ないが、急速に病状が悪化し、1年以内に死亡する場合も少なくなく、化学療法レジメンの選択や転移巣切除の適応などに悩む事が多いです。一方、大腸癌治療において、切除可能な転移巣の切除は予後を改善する事が知られています。

そのため、現状では切除可能な転移巣に対しては、BRAF V600E 野生型と同様に積極的な切除を行ってきました。

本研究の目的は、これまで行ってきた BRAF V600E 変異進行再発大腸癌に対する転移巣切除を含む積極的な治療結果を解析することです。さらに本研究から得られた知見をもとに、今後の至適な手術適応を検討することが最終的な目的である。

本研究は上記対象の臨床情報を解析することで行います。

研究期間は当院の生命倫理審査委員会の実施承認日～から 2021年3月31日を予定しております。。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記事、抗がん剤治療の治療歴、副作用、術後合併症の発生状況、カルテ番号 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-744-2222

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院消化器外科 1 上原圭介